



クールビズ体感調査 アンケート結果 <銀行にて>

(調査日時:8月28日:サンプル数:446)

環境省では、対象となった銀行三行(みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行)で実施された冷房温度を28℃を目途に通常よりも控えめに設定する取組について、来店者を対象としてアンケート調査を実施した。

調査結果は以下のとおり。冷房時の室温を28℃を目途に設定する取組みに肯定的な意見は全体の約97%(「適温である」または「やや暑いが特段支障なかった」という回答が全体の約92%)にのぼるとともに、今後このような冷房温度を控えめにする取組を続けるべきと回答した方も全体の約95.5%にもものぼった。

<アンケート調査>

【調査日時】8月28日(火曜日)

【調査方法】来店者を対象とした、調査員による任意の書面アンケート調査

【サンプル数】446(男性:236 女性:205 性別無回答:5)

(1): 冷房温度を緩めた店舗内はどのように感じましたか

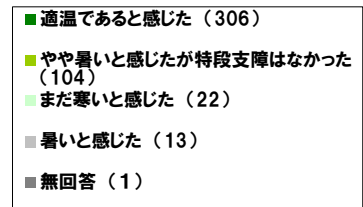
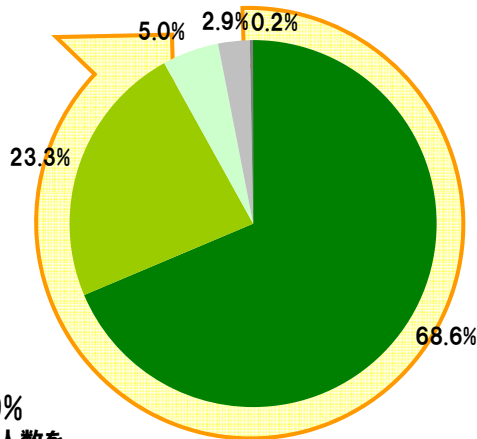
<総計>

(n=446)

91.9%(※96.9%)

適温と感じた計 91.9%
(「適温である」「やや暑いが特段支障はなかった」と回答した人数の計)

取組に肯定的である計 96.9%
(上記の回答に、「まだ寒い」と回答した人数を加えたこの取組に肯定的な回答をした人数計)

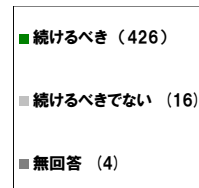
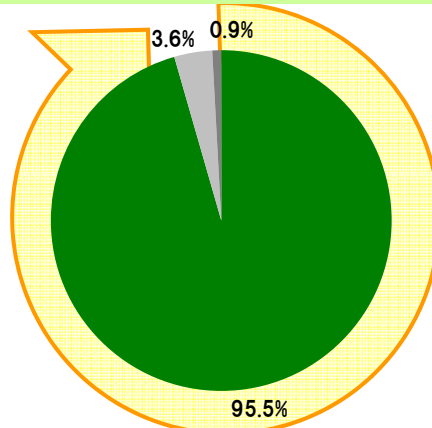


(2): 地球温暖化対策のために、今後この取組を続けるべきと思いますか

<総計>

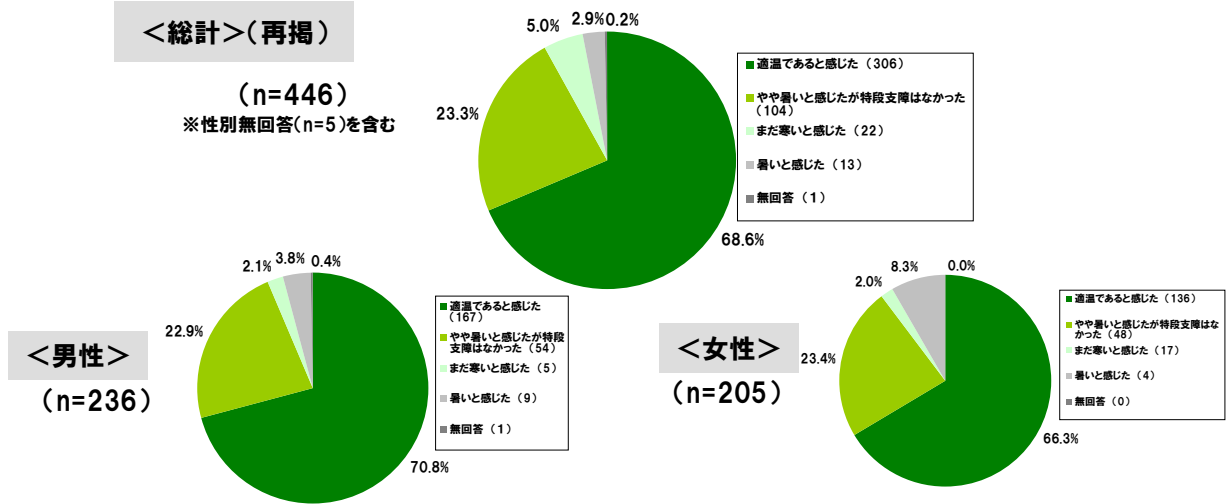
(n=446)

95.5%
(地球温暖化対策のために今後この取組を続けるべきと考えている計)

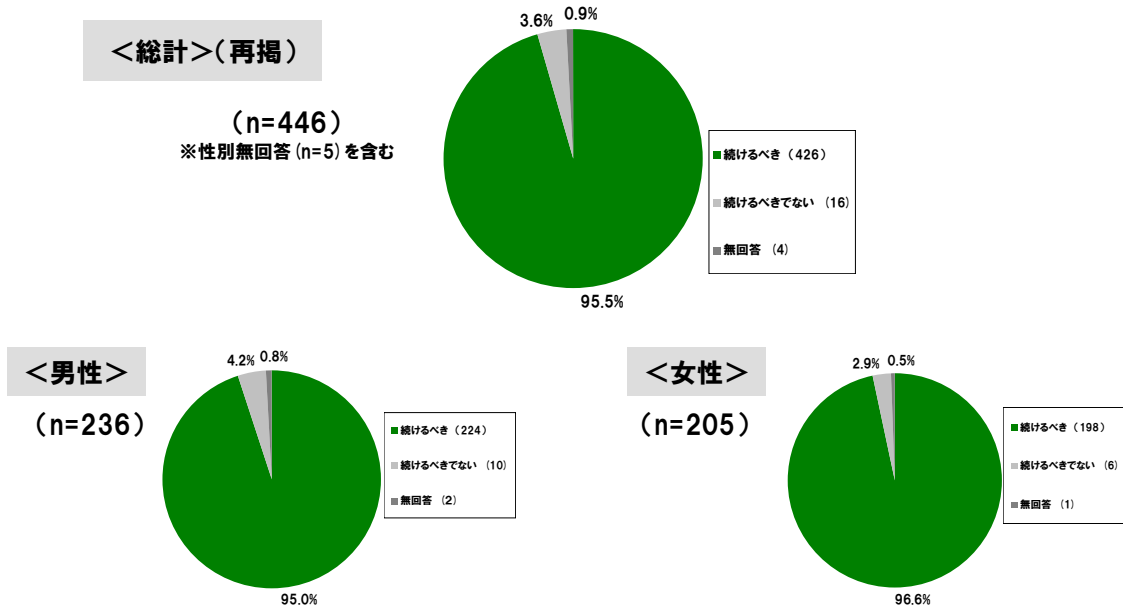


アンケート集計結果(男女別)

(1): 冷房温度を緩めた店舗内はどのように感じましたか



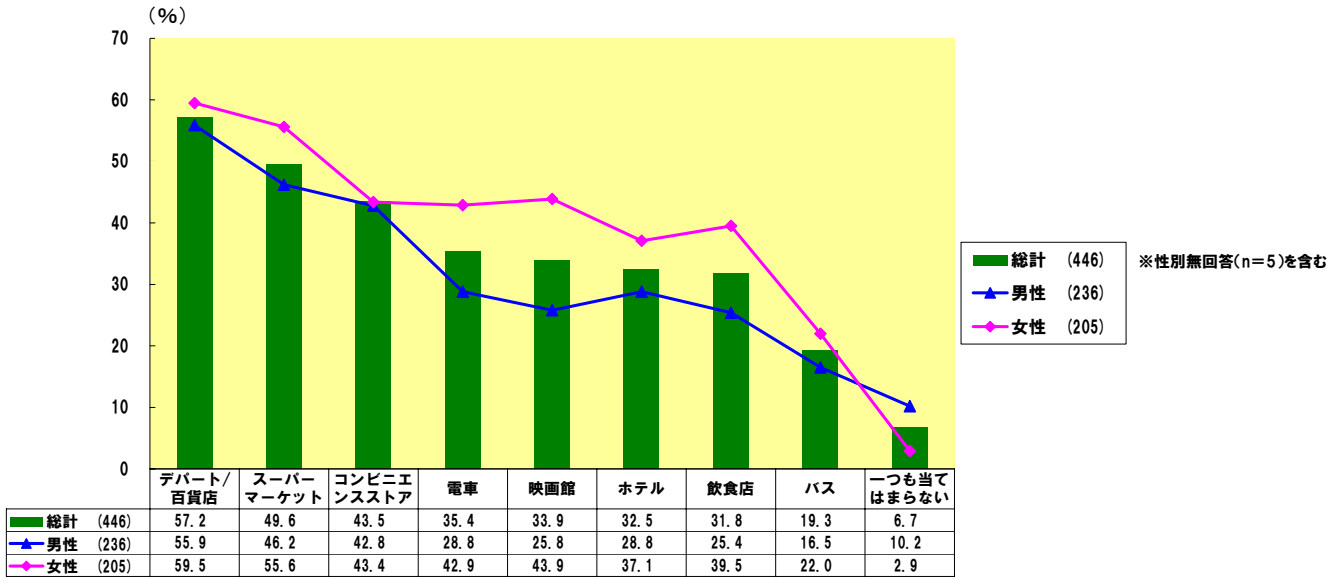
(2): 地球温暖化対策のために、今後この取組を続けるべきと思いますか



<今回の試験的取組に寄せられた意見> (自由回答)

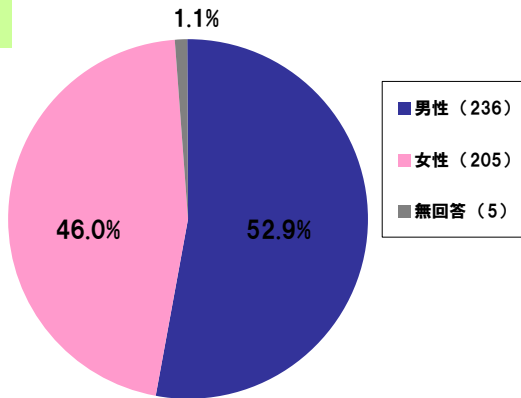
- 他の場所でも実施すべき (22件)
- 素晴らしい取組なので、今後も継続するべき (20件)
- 地球温暖化防止のためにはもっと努力が必要である (17件)
- 家庭内や、自動車など他の地球温暖化防止策についても考えるべき (8件)
- 室温が上がるのは好ましくない (8件)
- ちょうど良い温度だと思う (5件)
- 地球温暖化防止のために国際社会との強調をより強めるべきだ (4件)
- 施設や環境、その利用状況によって柔軟な対応が必要である (4件)
- もっと温度を上げて良い (2件)
- その他 (5件)

<銀行店舗の他にこのような取組を実施したほうが良いと思う場所>



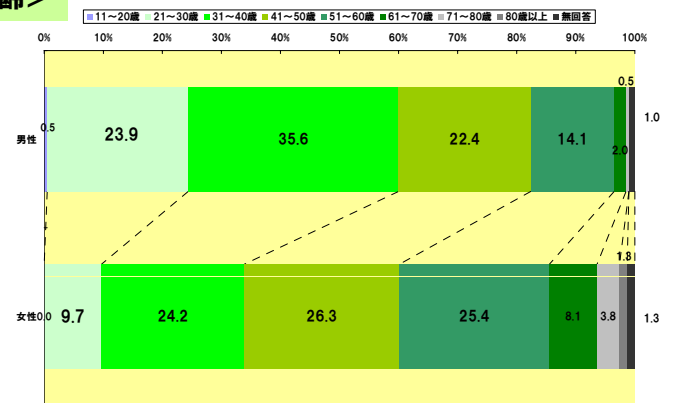
<アンケート回答の男女比率、年代構成、調査場所について>

<性別>



<年齢>

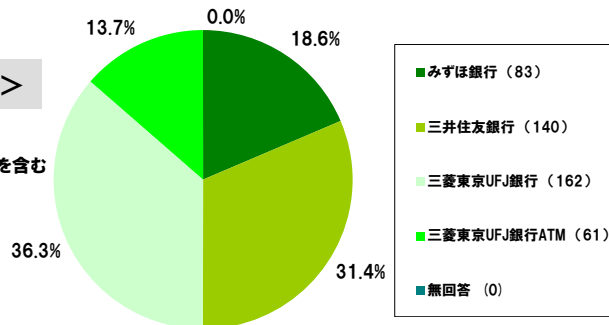
(%) (n=441) ※性別無回答(n=5)を除く



<調査場所(銀行名)>

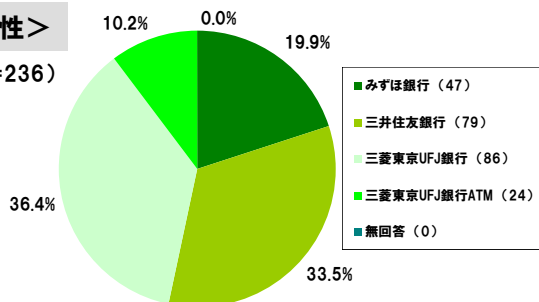
<総計>

(n=446) ※性別無回答(n=5)を含む



<男性>

(n=236)



<女性>

(n=205)

